

まるごと

信州立科町



立科町
マスコットキャラクター
「しいなちゃん」

ガイドブック

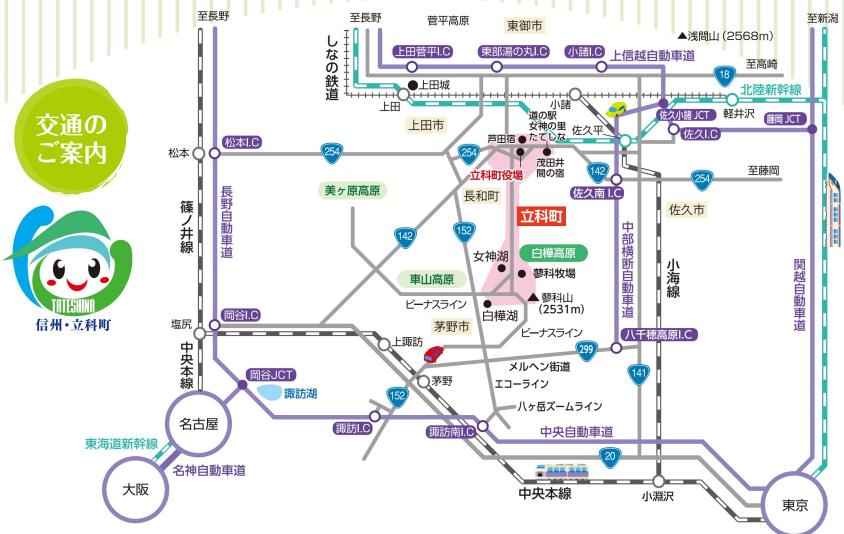
SHINSYU TATESHINA-MACHI

おいしい!
感動の
たてしな

知って
得する
たてしな

自然を
満喫する
たてしな

人と触れ合う
たてしな



交通のご案内



お車ご利用の場合



交通機関のご案内

バス	たてしなスマイル交通(町内巡回バス) 0267-88-8403 立科町役場 企画課
千曲バス(路線バス)※	0267-22-2100
東信観光バス(路線バス)※	0267-53-5522
アルピコ交通茅野営業所(路線バス)	0266-72-7141
タクシー	望月ハイヤー芦田営業所 0267-56-1153

※平日運行のみ。土日祝は運休

お申し込み・お問い合わせ

立科町役場

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町大字芦田2532
TEL.0267-56-2311(代)
FAX.0267-56-2310

立科町役場 萝科出張所

〒384-2309 長野県北佐久郡立科町大字芦田ハケ野1001
TEL.0267-55-6201

(一社)信州たてしな観光協会

〒384-2309 長野県北佐久郡立科町大字芦田ハケ野743
TEL.0267-55-6654

ゴンドラリフト・スキー場・

御源泉自然園 しらかば高原㈱
〒384-2309 長野県北佐久郡立科町大字芦田ハケ野743
TEL.0267-55-6000

ネットでアクセス

立科町公式HP

<https://www.town.tateshina.nagano.jp/>



蓼科出張所
<https://whitebirch.co.jp>



信州たてしな観光協会HP

<https://shirakabogen.jp>



新宿発!!
「新高速乗合バス」で快適アクセス!
お問い合わせ トライビューパン株 TEL 0265-98-0805



立科町は長野県の東部に位置しています。東は佐久市、北は東御市と上田市、西は小県郡長和町、南は茅野市に境を接しています。東西9.9km、南北26.4kmと南北に長い町で、周囲は78.2km、面積は66.87km²です。

北部では、稲作を中心として、りんご・野菜・畜産など農業が盛んでいます。南部の高原地帯は、蓼科山の北西に女神湖・蓼科牧場・白樺湖を有する一大リゾート地「白樺高原」で、四季折々の自然の恵みを満喫することができます。



日本百名山の蓼科山山麓に広がる高原の町たてしな。
南北に細長く、瓢箪（ひょうたん）を
引き延ばしたような形をしていて、
最狭部は、幅わずか53メートル。
その“くびれ”を境に南部には、
大自然の躍動を体いっぱいに感じる高原エリア。
北部にはのどかな田園風景や歴史文化にあふれる
里エリアが広がり、
アクティブ派も、のんびり派も、
大満足のメニューが待っています。
あなただけの“どつておきの旅”に
出かけてみませんか？

たてしなまちへようこそ！

女神湖と蓼科山

蓼科山は別名「女の神山」
これにちなんで「女神湖」と命名されました



立科町の注目ポイントをご紹介 まるごとたてしな

里エリア

里エリアマップ

歴史と文化、そこに息づく人々
街道口マンの町

地元の人とふれあい・地元を知る田舎旅
ふるさと交流

田舎暮らしを体験!!
ふれあいの里

伝統芸能祭り

高原エリア

高原エリアマップ

白樺リゾート・東白樺湖
美術館・遊園地・温泉

蓼科牧場

蓼科第二牧場・蓼科牧場ゴンドラリフト

御泉水自然園 自然の楽園!

女神湖 心のままに過ごしたい

スポーツ広場 仲間と一緒に楽しむ、鍛える

癒しのスポット!

スキー場ガイド

しらかば2in1スキー場・白樺高原国際スキー場・
白樺リゾート 池の平スノーパーク

たてしな歳時記

立科町への移住のオススメ!

施設のご案内

立科町ふるさと納税

周辺観光マップ

P4

P6

P8

P10

P12

P13

P14

P16

P18

P20

P22

P23

P24

P25

P26

P27

P28

P30

P31

まるごとたてしな

日本百名山「蓼科山」がある
自然豊かな町

八ヶ岳中信高原国定公園にふくまれる蓼科
山はもちろん、大自然に恵まれ白樺湖や女神
湖・御泉水自然園など見どころがいっぱい!
絵画のような世界が目の前に、自然の中から
ヒヨコの顔をだす動物たちにも出会えます。



御泉水自然園

**高原リゾート・牧場など
見どころ満載の地**
白樺高原には多くのレジャー・スポットがあります。日本百名山、蓼科山のふもとにある蓼科牧場に行ってみましょう。「ゴンドラリフト」で向かう女神のテラス1830からの眺めはまさに絶景。白樺湖には美術館やレジャーランドをはじめとするリゾート施設が充実。アトラクションや体験など観光拠点にも最適です。



女神のテラス1830



芦田宿本陣(県宝)



酢屋茂商店

中山道が横断する歴史町
江戸時代の「五街道」のひとつ中山道が有名ですが、繩文時代から多くの人々が生活をしていました。歴史的、文化的遺産も数多く残る信州の注目エリアです。



露天風呂



立科温泉「權現の湯」

厳選温泉
里エリア、高原エリアとともに信州の温泉が楽しめます。P10、P17 家族や、仲間での旅行など、絶景を楽しみながらのんびり、ゆったりした時間をお過ごしいただけます。
のどかな立科町で休日を思いつきり楽しんでみませんか?

心も体もあつたまる



憧れの田舎暮らし
土の匂いに触れる農業体験、地産の食材を使った料理体験など、町の魅力を体感していただけます。立科町では「移住のお手伝い」もしますのでお気軽にご相談ください。立科でスローライフ。



スポーツ施設も充実
立科町には3か所のスキー場を始め、女神湖畔には充実したスポーツエリアがあります。何と言っても大自然の山々での登山やトレッキングなどが人気で抜群の環境です。標高も高いことから、「準高地」としてトレーニングや夏の合宿などにも最適です。澄んだ空気と絶景が待っています。

健康に楽しむ



食を巡る旅
楽しい旅にはやっぱり「美味しいもの」。
高原野菜やお米 果美中でもりんごはオススメ。地産の食材を使ったとっても美味しい料理もぜひ食べてもらいたいですね。蓼科山の裾野でのびのびと育った信州蓼科牛の上質な味わいや、蓼科の湧水が生んだお酒もこ賞味いただきたい逸品です。

伊勢神宮奉納
蓼科山の裾野で清涼な環境に恵まれ、のびのびと育てられた蓼科牛。肉質がきめ細やかで、やわらかく甘みがある上質な味わいが特徴です。
伊勢神宮にも奉納された安心、安全、美味しい牛肉です。



**りんごの極み
立科りんご**
栽培されているりんごの種類はいくつもありますが、その代表格は果実に袋をかけずに販売「サンふじ」。シャキッとジューシーな果肉で、黄色い蜜が入ったその味は格別です。

高原野菜
冷涼な気候を活かして栽培された高原野菜、標高が高いため、病害虫が発生しにくく、葉のやわらかさとほのかな甘み、水分をしっかり含んだみずみずしさが特徴です。

レタス・白菜
冷涼な気候を活かして栽培された高野野菜、標高が高いため、病害虫が発生しにくく、葉のやわらかさとほのかな甘み、水分をしっかり含んだみずみずしさが特徴です。

蓼科山の湧水が生んだ逸品
蓼科山から湧き出る清らかな水「御泉」は超軟水。抜群の晴天率を誇り、かつ寒暖差の大きい気候はオリジナルの日本酒・焼酎「ワイ」など、沢山の逸品を生み出しています。

コシヒカリ 立科産
塩沢堰などの水路によって、蓼科山からの湧水が水田地帯を潤します。気候や土壤にも恵まれた立科産の米は県内でも高品質、食味米の産地として位置づけられ、全国的に販売されています。



蕎麦

昼夜と夜の寒暖差が大きく、冷涼な高原地帯で育った蕎麦は、香りや味、甘みの強さがさらに風味が増す、天然水でのおいしさが楽しめます。

たてしなサイダー
蓼科山からの湧水「御泉水」で作ったオリジナルサイダー。



日本酒・焼酎・ワイン
蓼科山から湧き出る清らかな水「御泉」は超軟水。抜群の晴天率を誇り、かつ寒暖差の大きい気候はオリジナルの日本酒・焼酎「ワイ」など、沢山の逸品を生み出しています。



“おいしい立科町”を
召し上がり!
たてしなの恵み利用店

自然豊かな長野県立科町が育んだ美味しい「立科産の農畜産物」を提供している立科認定の店舗です。農畜産物の利用状況のお知らせや、地産地消を推進し観光地域の魅力を発信することを積極的に行う宿泊施設、飲食店等が「たてしなの恵み利用店」として認定されています。
※店舗情報はP28~P29「施設のご案内」をご覧ください。

A



B

ふたつの「たてしな」…
「立科町」と
「蓼科町」?

topic

観光地の「蓼科」が有名ですが、
町の名前は「立科町」です。日本
百名山のひとつ蓼科山の山麓に
広がる町で、昭和30年に普田村、
横鳥村、三都和村の三村が合併
して、立科村が発足し、昭和33年
に立科町が誕生。

当初地域の象徴でもある「蓼
科山」や「蓼科高校」があったた
め、「蓼科」の字を当てようし
ましたが、当用漢字に「蓼」の字
がなかったこと、また蓼科山は
古くから「立科山」と呼ばれてい
たことなどから、「立」の字が當
てられ「立科町」となりました。

C

ふたつの「たてしな」…
「立科町」と
「蓼科町」?

観光地の「蓼科」が有名ですが、
町の名前は「立科町」です。日本
百名山のひとつ蓼科山の山麓に
広がる町で、昭和30年に普田村、
横鳥村、三都和村の三村が合併
して、立科村が発足し、昭和33年
に立科町が誕生。

当初地域の象徴でもある「蓼
科山」や「蓼科高校」があったた
め、「蓼科」の字を当てようし
ましたが、当用漢字に「蓼」の字
がなかったこと、また蓼科山は
古くから「立科山」と呼ばれてい
たことなどから、「立」の字が當
てられ「立科町」となりました。

D



E



緑の山々に囲まれ、日本の昔を思い出させてくれるような原風景に出会える里工リア。いにしへに想いを馳せながら巡る史跡や寺社、ホッとする田園風景、そこで暮らす人々のふれあい、農村や田舎暮らし体験など自然に癒される最高に贅沢な時間が待っています。

F



6

7

A

B

C

D

E

F

